



金子 武蔵
(自民クラブ)

日本に生まれたことに誇りを持てる子どもたちの教育を

問 市で使用している中学校歴史教科書について聞くと、

①学習指導要領で目標とする、「子どもたちが我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てること」にならないのでは。

②義務教育諸学校教科用図書検定基準に合致せず、生徒たちは、戦争で日本は悪いことをした、という大きな誤解をしているのでは。

答 ①教科書は教育基本法などの目標を達成するための重要な教材であり、国が法令に照らし検定を行っている。歴史教科書も、教育基本法に規

定されている我が国と郷土を愛し、国際社会の平和を願う態度を養うことなど、教育の目標を踏まえ、内容の公正さなどについて国が審査して検定を行っており、目標を達成できる教科書が検定に合格していると受け止めている。

②国が検定基準に基づき、専門的・学術的な調査審議を経て可否を判定しており、市で現在使用中の教科書は、検定に合格していることから基準に合致すると考えている。生徒が歴史を一面的にとらえることのないよう、学習指導要領に基づき、様々な角度から考え、公正に判断できるよう、今後も指導の充実を図っていく。

その他の質問項目

- ①高齢者福祉行政(今回の高齢者保健福祉計画の策定、福祉人材・介護現場の人材確保、各種介護予防施策の利用者数向上に向けた取組、地域包括支援センターの助言体制)
- ②障がい者の地域生活支援拠点等の整備
- ③国本地域ビジョン
- ④農業の担い手対策



高橋 美幸
(公明党)

LED防犯灯の導入促進に向け対策を検討せよ

問 市では、地域の防犯力の向上のため、防犯灯を設置している自治会などに対して補助金を交付しているが、市の防犯灯のLED化率は26年12月末現在、設置されている約4万4千灯のうち、LED防犯灯は約6千300灯で全体の14.3%である。

地域からは、LED防犯灯に交換したいが、一時的な工事費用の立て替えが難しいなどの声が寄せられている。

今後、市ではLED防犯灯の導入促進に向けて、どのような対策を検討しているのか。

答 防犯灯のLED化をさらに推進していくため

には、自治会などの支払い負担の軽減を図っていくことが必要であると認識している。LED防犯灯への交換については、これまで市が自治会などに支払っていた補助金を直接工事業者に支払うことにより、自治会などの一時的な工事費用の立て替えが不要となる方式を、27年度の申請分から実施していく。

今後とも、自治会などに対して制度の周知・啓発を図るなど、引き続きLED防犯灯の積極的な導入促進に努めていく。



▲LED防犯灯

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢(新幹線はやぶさのJＲ宇都宮駅停車、男女共同参画に向けた取組ほか)
- ②健康づくりに向けた取組
- ③ひとり親家庭の自立支援
- ④宇都宮市プレミアム付商品券事業
- ⑤総合スポーツゾーン周辺道路整備
- ⑥社会教育行政
- ⑦スポーツ振興に向けた取組



山崎 昌子
(自民党)

グローバル社会に向け積極的に青少年の国際教育を

問 次代を担う青少年が、多文化への国際理解を深めていけるよう、海外留学の啓発活動や経済支援を積極的に進めることが大切であると考え、外国人住民や留学生とのふれあいや交流の体験を通し、相互理解を深めることも必要であり、今後、国際教育を進めていくためにどのように取り組んでいくのか。

多文化共生の地域づくりなどを実施し、地球的視野に立って、主体的に行動できる人材育成を図り、国際教育の推進に継続的に取り組んでいく。

答 第2次国際化推進計画で姉妹都市交流と多文化共生に関する事業を通して、国際化社会に対応できる人材育成を推進することとしている。具体的には、青少年を姉妹都市へ派遣し、広い世界に

目を向け、国際感覚を身につけた人材育成を図るとともに、市内の各地域において、国際理解に関する講座を開催し、青少年が世界の様々な文化に触れる契機としている。

また、学生の海外留学などについては、情報の提供や講演会の開催のほか、個別相談を受ける際に、相談者の語学力などに応じた総合的なアドバイスを行うなど、一人ひとりの状況に対応した留学支援を行っている。

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢(国際観光の推進と外国人の誘客促進ほか)
- ②子ども・子育て支援(色覚検査希望者に眼科受診の推進ほか)
- ③若者の地域参加の促進
- ④結婚相談ができる地域人材の育成
- ⑤在宅医療・介護の充実
- ⑥駒生射撃場跡地(駒生湿地)の保全と活用